

ノーリツ
太陽熱利用機器「ソーラーシステム」で10年リース販売を開始
機器購入・取り付け費用の平均1/2程度でリース可能

～ リース期間満了時は無償譲渡、10年保証付き ～

湯まわり設備メーカー(株)ノーリツ(本社:神戸市、取締役社長:國井総一郎、資本金:201億円、東ノ大証一部上場)は、環境省の家庭用太陽熱利用システム普及加速化事業として購入資金の約半額が補助される太陽熱利用ふる給湯システム「スカイピア VF-4140 シリーズ」のリース販売を2010年5月17日から開始しました。当社は、環境省の家庭用太陽熱利用システム普及加速化事業に公募し、全国の戸建住宅を対象に約700台分が採択されました。



VF-4140 シリーズ

今回のリース販売は地球温暖化対策推進事業費補助金が利用できるため、太陽熱利用システムの機器・工事費の半額(最大60万円まで)が補助されます。さらに下記の3点においてお客さまのメリットがあります。

購入資金が要らず、家計への負担が少ない月々のリース代金で利用

10年保証付き(10年・7年リースの両プランとも)

リース期間満了時に商品はお客さまに無償譲渡

また「VF-4140 シリーズ」は従来タイプの給湯器と比較して燃料消費量が年間約4割削減することができるため、従来のガス給湯器と比較して年間のガス料金は、例えばLPガスの場合、約35,000円節約することができます。

算出条件 修正M1モード(4人)の給湯使用量をベースに算出。(東京、名古屋、大阪、福岡4人家族の平均)水温は各地の月別平均水温データ、LPガス:16.0円/kWh、電気(昼間:ポンプ電力):21円/kWh、LPガス:3.00-CO2/kg
出展元:LPガス/石油情報センター(平成21年10月公表データより算出) 集熱量は設置条件などにより変動する場合があります

リース販売のしくみ

当社及び当社指定のリース会社であるT&Dリース株式会社(本社:東京都中央区日本橋)と三社間の業務協定を結んだ全国の都市ガス事業者、LPガス事業者が、お客さまとのリース契約を代行し、販売施工します。お客さまのご負担は機器代金、工事代金の合計額を半額にした金額(最大60万円まで)に対する月々のリース料金となります。なお、お客さまのリース窓口はT&Dリース株式会社、修理窓口は当社となり、修理はグループ会社の㈱エヌティーエスが行います。

リース販売概要

対象商品 : 強制循環式ソーラーシステム(熱源一体型)「VF-4140 シリーズ」

リース期間 : 10年もしくは7年

保証期間 : 10年

補助金上限 : 60万円(同システムの機器代、工事代の1/2)

販売会社 : ガス事業者 (当社、T&Dリース会社と業務契約をしたガス事業者)

リース会社 : T&Dリース株式会社

販売対象エリア : 全国(北海道地区、離島を除く)

販売目標台数 : 約700台 この環境省家庭用太陽熱利用システム普及加速化事業は、予算がなくなり次第終了となります。

家庭用太陽熱利用システム普及加速化事業の採択案件について

環境省の地球温暖化対策推進事業費補助金による家庭用太陽熱利用システム普及加速化事業として「太陽熱利用システムのリース(保守、管理を含む)」事業者に対して同システムの機器・工事費の1/2を上限(最大60万円まで)に補助し、リース料の低減を図り、太陽熱利用システムの普及を加速化するという方針に基づき、リース販売を開始します。太陽熱利用システムは近年、環境配慮商品として注目されていますが、一方で初期費用が大きいといったデメリットがあり、需要は近年ほぼ横ばいの状態です。

※ご参考：3月26日環境省発表報道資料

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=12317>

当社は2009年に環境省より「エコファースト企業」(巻末参照)として認定を受けており、低炭素社会への貢献を約束しています。主力商品である給湯器分野での「エコジョーズ」の開発、販売促進を始め、環境配慮商品の普及・開発を積極的に進めておりますが、今回の「太陽熱利用システム」補助金制度を活用し、さらに環境配慮商品の販売を加速させていただきます。

～参考資料～

太陽熱利用ふる給湯システム「VF シリーズ」について

集熱器内の不凍液を加熱し循環させ、貯湯タンクにて熱交換するタイプ。貯湯タンクは地上に設置するセパレートタイプです。屋根への負担が少なく、集熱面積が一番大きく取れるタイプで貯湯量も多く、省エネに貢献できます。熱源機と貯湯タンクが一体になった省スペース型のソーラーシステムです。集熱面積はわずか 4 m²で太陽光発電が設置できないスペースの屋根にも設置可能です。



「エコファースト」 当社の取り組みが、ガス石油機器業界で初めて環境大臣の認定を受ける

当社では、給湯器や太陽熱利用機器のほかにも、熱効率の向上や CO₂ 排出量削減を実現する製品開発や、製造過程での環境への負荷軽減など、事業全般にわたり環境について取り組んでいます。その一環として、2009 年 3 月、環境省による「エコ・ファースト制度()」において、「温水機器使用時の CO₂ 総排出量の削減」「CO₂ の見える化の推進」など、製品及び事業活動を通じて低炭素社会の構築に取り組むことを宣言し、ガス石油機器業界で初めて環境大臣の認定を受けました。



当社は今後も「VF シリーズ」を含む、環境配慮型の製品を通じてエコロジーに取り組めます。

エコファースト制度...環境省が 2008 年 4 月に創設。業界のトップランナー企業が、環境保全に関する行動をさらに促進していくため、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度。基本 1 業種 1 社認定 (2010 年 3 月現在認定企業は 24 社) 認定された企業のみがエコファーストマークを使用できる。

< ノーリツの エコ・ファーストの約束 >

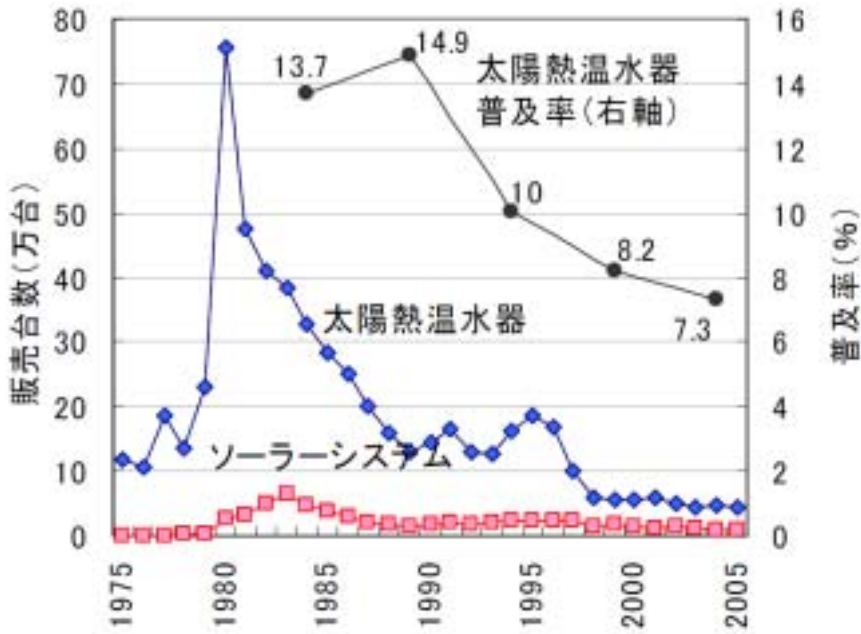
1. 製品を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。
2. 事業活動を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。
3. 法規制を先取りした化学物質管理を強化し、環境汚染リスクを低減します。
4. 製品・事業活動を通じて資源循環型社会の構築に積極的に取り組みます。

1.国や自治体の補助制度

地球温暖化が進む中、自然のエネルギーを利用する気運が高まっています。住宅の太陽熱利用機器に関しても、今回の環境省からの補助金制度のほかに、国内では各自治体が助成制度を実施。東京都では既に10以上の区・市で導入しているほか、東京都も2009年4月から制度を開始しています。

2.温水式ソーラー機器の需要と普及率

出典：電力中央研究所報告



3.地域別日射量

出典：NEDO『ソーラー建築デザインガイド』

